



みよし市主催・地域サロン第3回(6/4)認知症の理解、付き合い方

“認知症”という言葉の本来の意味(定義)、症状の判断方法等々をあいねっとの
 新宿さんより判りやすく整理された内容の説明を受けました。体験や話題を
 たくさんお持ちの参加者の皆さんからも認知症についてのあれ、これを提供していた
 いただきました。具体的な対応の仕方、予防の知識などおしゃべりをとおして深める
 ことができました。

にんちしょう 認知症

〇〇〇病名ではありません。
 記憶力、判断力が低下した
 状態を示す症候群です。



定義
 認知機能が、
 後天的な脳の障害によって
 持続的に低下、日常生活や
 社会生活に支障を来した状
 態のこと。

? 認知症だとどんな風になるの。

●コミュニケーションに関すること。

- 同じことをくり返す。
- ものにとらわれ妄想
- 時間・場所がわからない。
- 幻覚
- 反復作業
- 徘徊
- うつ症状
- 暴言
- 暴力
- 情緒不安定
- 介護拒否

●食事に関すること。

- 食べない
- 異食
- 食べてないと言い張る、etc.

? 認知症の判断(基本的判断)

	記憶障害	生活障害
健康	なし	なし
軽度認知症	あり	なし
認知症	あり	あり

(客観的な判断方法がないので
 本人や家族が話を聞いて
 総合判断)

? 認知症の治療は...

●薬物療法以外のリハビリテーション

- ゲーム、音読、計算

周囲の人も
 一緒に楽しんで
 効果アップ!



●回想法

●音楽療法 アートセラピー

●現実見当識訓練

- 日付、季節、場所を
 地図やカードを使って行う。

? 認知症の方への介護の心構え。

- ① 介護をする自分を見守る人垣(人の輪)を作ろう....
- ② 本人を見守る人垣(人の輪)を作ろう。

* 本人、その人の暮ら方を整理して、よく理解して介護にあたるとよい。

